

競技注意事項

2019 高校新人名南北支部予選会

1 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。

2 ウォーミングアップ場について

- (1) 本競技場
競技会準備の妨げにならない範囲で競技開始15分前まで使用可能とする。
- (2) 北陸上競技場
 - ①最終種目の招集完了時刻まで使用できる。
 - ②使用した器具は、各自で片付けること。(リレー練習のテープもはがすこと)
 - ③投てき練習は禁止する。
- (3) レクリエーション広場は使用できない。

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場の1階北側の選手ホールに設ける。
- (2) 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなして処理する。
- (3) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は以下の通りである。
- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技(棒高跳を除く)	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは胸と背に必ず固定しておくこと。(競技規則143条7・8を厳守)
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は、胸と背いずれか一方で良い。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。
右腰のやや後部につけ、競技終了後に係まで返却すること。

5 競技場への入退場について

競技場への入退場は、すべて競技役員の指示により行う。

6 番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。ただし800mについては競技役員の指示に従うこと。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、アナウンス及び大型ビジョンで紹介し、正面スタンド中央階段を上がったところにある番組編成掲示板に掲示する。
- (3) タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定員主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条)

7 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。800mについては競技役員の指示に従うこと。
- ③ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- ④ 男子5000m競歩は30分、女子5000m競歩は35分で競技を打ち切る。

(2) フィールド競技について

- ① 競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② 投てき競技の計測は、光波測定器を使用する（運営上の問題で変更する場合がある）。
 - ③ 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー（粘着テープ、2箇所まで）を助走路内に用意することができる。
 - ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。
 - ⑤ 男女ハンマー投げの競技は、北陸上競技場で実施する。招集は本競技場で行う。
- (3) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない（競技規則第144条3（b）・4）。
- (5) 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内（結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする）に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。
- (6) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。
警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

8 走高跳・棒高跳について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。
ただし天候などの状況により変更することもある。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1m60 1m80	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以降 3cm ずつ
	女子	1m25 1m50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	以降 3cm ずつ
棒高跳	男子	3m50 4m00	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	以降 10cm ずつ
	女子	2m00 2m50	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以降 10cm ずつ

9 競技用具・競技用靴について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。

10 表彰・各種目の得点について

- (1) 各種目6位までを入賞者とし、賞状を授与する。賞状を表彰室に取りに来ること。
- (2) 各種目の得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
- (3) 最終日終了後の閉会式で表彰を行う。男女それぞれ総合6位まで、トラックの部・フィールドの部3位までの学校は参加をすること。

11 県大会出場者（チーム）について

- (1) 県大会出場者は、各種目上位6名とする。
- (2) シード選手（チーム）は、今大会の結果にかかわらず県大会に出場することができる。
- (3) シード選手（チーム）が6位以内に入賞した場合、7位以降の選手を繰り上げ、シード選手（チーム）以外の6名（チーム）が県大会に進出することができる。
- (4) シード選手（チーム）が多く、決勝ラウンド以前の段階で出場選手（チーム）を決定する場合は、決勝ラウンドの1つ前のラウンドの記録により県大会進出者（チーム）を決定する。
- (5) 国体出場選手は、国体に出場する種目のみ県大会に出場できる。国体出場種目以外で6位以内に入賞した場合は、7位以降の選手が繰り上がり、県大会に進出することができる。
- (6) 以下の種目については、県大会進出には、6位入賞に加え標準記録に達することが必要である。

種目	標準記録	確認事項
男子 5000m競歩	28分00秒00	
女子 5000m競歩	33分00秒00	
男子 ハンマー投	33m00	標準記録に達しなかった者は、競技終了後、3回の試技を行うことができる。
女子 ハンマー投	23m00	

- (7) 県大会出場者（チーム）は、学校ごとで最終日終了までに、出場手続きを県大会申込所で行うこと。

12 一般的注意事項

- (1) 各校引率教員は、大会各日の競技開始30分前までに大会本部で受付を完了すること。受付を行わない学校の競技者は、競技に参加できない。
- (2) 選手の変更は認めない。
- (3) 北側ロッカールームは使用できるが、ロッカーの鍵は毎日返却すること。
- (4) ゴミはすべて持ち帰ること。近隣の自動販売機やコンビニエンスストアや駅などのゴミ箱に捨てないこと。

以下の「清掃当番校」は、競技終了後、速やかに本部前へ集合すること。

9/14（土）	愛工大名電	名古屋
9/15（日）	向陽	昭和
9/16（月）	千種	熱田

- (5) 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・傷害に対する応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (6) 横断幕、応援用のぼり等はバックスタンドの最上部のみ掲出を認めるが、通路をふさぐ取り付けは禁止する。横断幕（標語・学校名のみ。個人名・広告入りは不可）は、各チーム1つとする。
- (7) 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。拾得物は、1階の大会本部で保管する。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。